

令和4年度助成実績一覧表

(公財)カメイ社会教育振興財団

※令和5年1月下旬時点の情報です。

(辞退案件は除いております。)

A. 博物館学芸員等の内外研修に対する助成

助成額 1件/200,000円以内

応募:2件 決定:2件

(敬称略)

番号	氏名	所属機関【都道府県名】	研修テーマ	研修施設名
		役職名		研修期間
1	海邊 博史	堺市博物館 【大阪府】	『中世における遠隔地交流の実態調査 —四国における関西系石造物の技術伝播を中心—』 中世の遠隔地交流を明らかにするため、関西と四国に所在する石造物の詳細調査を実施する。両地域の石造物の形態・石材を比較し、商品としての搬入か石工集団の技術供与か等、中世日本の多様な流通実態の一端を明らかにする。	高知県土佐清水市教育委員会、高知県四万十市教育委員会他
		係長(学芸員)		5/15～3/31
2	高野 敦史	Luna株式会社 南阿蘇ルナ天文台 【熊本県】	『米国の天文台施設におけるオンラインサービスの取り組みの現状とこれからの展開に関する現地調査』 IT先進国である米国の代表的な天文台が行うオンラインサービスの現状について、実行状況、理念など考え方、実現化までのステップなど具体的に聞き取りや視察による調査を行い、日本の現状把握や今後の事業開発に役立てる。	Mt.Wilson Observatory、Chabot Space & science center
		天文台 副台長		9/20～10/5

B. 博物館に関する国際交流に対する助成

助成額 1件/500,000円以内

応募:3件 決定:3件

(敬称略)

番号	博物館名	事業名等	実施場所
			実施時期
1	仙台市富沢遺跡 保存館 仙台市縄文の森広場 【宮城県】	『展示手法の開発と導入』 館がもつ考古資料の魅力を最大限に引き出すために多様な技術や方法を用いて新たな展示を開発する。実験考古学や3D計測など、先進的取り組みを実践している海外の研究者などとシンポジウムを開催し、情報や技術の共有を図る。	①シンポジウム ②石器製作実験セミナー 仙台市縄文の森広場 およびオンライン
	館長 武山 剛久		①3/11 ②10/23
2	北九州市立 自然史・歴史博物館 【福岡県】	『東アジア友好博物館 シンポジウム開催事業』 韓国・仁川広域市立博物館および中国大連市・旅順博物館と三館を結び、「東アジア友好博物館シンポジウム・東アジアの海港都市と建築」を開催する。成果は予稿集・報告書や動画で記録・公開し、博物館の国際交流の深化とモデル化を図る。	北九州市立自然史・ 歴史博物館 (大連市旅順博物館・ 仁川広域市立博物館とオンライ ンで結ぶ)
	館長 伊澤 雅子		11/5
3	山形大学附属博物館 【山形県】	『山形・ボローニャ大学博物館 交流事業』 博物館は館種や地域を越えて共通した社会的使命がある。コロナ禍で各地域が孤立している今だからこそ、これまで蓄積してきた連帯を維持し、共通の課題に取り組むことが必要である。また、オンラインイベントの可能性を広げたい。	①ギャラリートーク: ボローニャ大学博物館 ②ワークショップ (オンライン)
	館長 大友 幸子		①9/20 ②8/22

C. 青少年の社会教育活動に対する助成

応募:27件 決定:18件

助成額 1件/300,000円以内

(敬称略)

分類 番号	団体名【都道府県名】	事業名等	場所〔参加人数〕
	代表者名		実施時期
2	大和町文化振興協会 【宮城県】	『たいわっ子芸術文化推進事業 「たいわっ子寄席」』 町内の小中学生を対象に芸術鑑賞会を開催し、芸術文化に触れる機会を創出することにより豊かな心を育み、情操教育の推進を図ることを目的とする。	まほろばホール
	理事長 村田 晶子		9/8
3	こどもの夢ひろば “ボレロ”実行委員会 【東京都】	『第8回 こどもの夢ひろば“ボレロ” ～つながる・集まる・羽ばたく～』 様々なジャンルで活躍する一流の本物に子どもたちが触れる機会の提供により、将来の夢や希望をはじめ、生きる勇気や目標を掴み取ってほしいと願って実施している事業。そのことで、将来子どもたちの健全な成長の一助にすることが目的である。	日立システムズホール仙台 (仙台市青年文化センター)
	会長 今井 環		7/30・31
5	登米祝祭劇場 ミュージカル劇団 ドリーム☆キッズ 【宮城県】	『劇団ドリーム☆キッズ 第20回記念ミュージカル公演』 小中高校生を中心に構成されたミュージカル劇団。公演を通じて、表現力の向上に加え、社会性や協調性を身に付けることを目的とする。また、市民に良質な舞台を提供し、芸術文化への理解を深め、地域の活性化に寄与する。	登米祝祭劇場
	会長 板倉 容子		9/10～11
6	子どものための オペレッタワークショップ 実行委員会 【北海道】	『2022年度子どものためのオペレッタワーク ショップ「月を盗んだ話」 ワークショップと発表公演』 様々な状況下にある子どもの健全な成長と想像力と思いやりを育むため、オペレッタを題材にしたワークショップを子どもたちと共に行い、地域社会と音楽文化の豊かな発展に寄与することを目的とする。	札幌市文化会館
	実行委員長 田中 伸恵		5月～8月
7	奥州市芸術文化協会 【岩手県】	『おうしゅう伝統文化体験フェスタ』 「奥州こども芸術発表会」の舞台や、華道・茶道・神楽等の日本の伝統文化を体験出来るイベントを行い、伝統文化に触れる機会を創出。併せて伝統文化を担う指導者が一体となって、地域文化・地域人材の掘り起こしを図ることを目的とする。	奥州市文化会館
	会長 広野 次雄		10/9
8	公益財団法人 ミモカ美術振興財団 【香川県】	『こどもMIMOCAアーティスト 派遣ワークショップ』 子どもたちが様々な身体の動きを知り表現する楽しさを体験することを目的として、小学校でのアウトリーチワークショップを開催する。さらに参加者の中から希望者を募り、美術館で一般来場者へ向けて作品を発表する。	①身体表現ワークショップ： 丸亀市内小学校 ②舞台発表： 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館他
	代表理事 森 茂		①10/10～15 ②11/23

分類 番号	団体名【都道府県名】	事業名等	場所〔参加人数〕
	代表者名		実施時期
9	国立大学法人 山形大学学術研究院 大学院理工学研究科 【山形県】	『モバイルキッズ・ケミラボ2022』 理科教育の振興と豊かな人格形成および人材育成を図るため、山形大学大学院理工学研究科教職員の有志と米沢市教育委員会の連携のもと、小中学生を対象とした理科実験教室や各種イベントでの出前実験教室を開催する。	①実験教室：米沢市理科 研修センター他 ②イベントでの出前実験等 5月～1月
	教授 木島 龍朗		
11	公益財団法人 廿日市市芸術文化 振興事業団 【広島県】	『はつかいち ほほえみ(学校訪問) コンサート』 小学校への訪問コンサートを行うことにより、子どもたちが自分たちの学校や住んでいる地域に愛着や誇りを持ち、音楽を通して「共生」や「平和」の心、すなわち様々な価値観を認めあい、ともに仲良く平和に暮らす気持ちを養う。	廿日市市内の小学校17校 9/13～11/25
	理事長 生田 徳廉		
12	YCC東北 【宮城県】	『未来の作曲家コンサートin東北2022』 東北の若い人々に作曲を通じた良質の音楽体験を提供するため、選出作品をプロが演奏するコンサートを開催する。新しい作品を演奏者や市民が触れるための機会を継続的につくり、地域の音楽創作を活性化させる。	仙台市宮城野区文化センター 8/21
	代表 小山 和彦		
14	一般社団法人 宮城県子ども会 育成連合会 【宮城県】	『令和4年度 みやぎ ジュニア・リーダー交流会』 宮城県内各地域で活動しているジュニア・リーダーが、子ども会活動の活性化を図るため一堂に集い自分自身の能力を高めると共に、他の地域のジュニア・リーダーと情報交換をもち、コミュニケーション力を育むことを目的とする。	国立花山青少年 自然の家 12/3～4
	会長 佐藤 眞紀子		
15	公益財団法人 ふくしま科学振興協会 【福島県】	『すかがわサイエンスフェスタ2022』 青少年の理科離れが叫ばれる状況が続く中、科学や自然に直接触れて、より身近に感じられるような機会を提供していきたい。その一環として、地元の企業や高校など各種団体との連携を図り本事業を開催していきたい。	ふくしま森の科学体験センター(ムシテックワールド) 8/21
	理事長 森合 義衛		
17	一般社団法人 とおがったプロジェクト 【宮城県】	『アーティストインレジデンスによる 地域小中学校教育プログラム』 アーティストインレジデンスを通じた「アートは身近にあるもの」への気づきの提供。リアルなコミュニケーションから学ぶ「平和の創造」のために必要な大切なことへの気づきの機会を提供し、地域、県内の文化レベルの底上げに貢献する。	蔵王町立遠刈田中学校 11/21～24
	代表理事 佐藤 雅宣		
18	株式会社 街づくりまんぼう 【宮城県】	『高校生街なかキャンパスプロジェクト』 高校生を主体とした壁絵制作プロジェクトで、街なかにある壁やシャッターに壁絵を描くことで創造力や表現力、協調性等を育む。また、街なかに新たな街歩きスポットとして話題を生み出し、地域活性化を図る。	石巻市 中心市街地 8/1～25
	代表取締役社長 木村 仁		

分類 番号	団体名【都道府県名】	事業名等	場所〔参加人数〕
	代表者名		実施時期
21	一般社団法人 琉球フィルハーモニック 【沖縄県】	『音楽による子どもの居場所づくり (ジュニアジャズオーケストラおきなわ)』 音楽に興味を持つ子どもが、生まれ育った 環境に左右されることなく音楽に触れ、学校 や学年の垣根を越えて多様な才能と出会う 機会を創出し、音楽による体験や交流の機 会を通して自己肯定感等生きる力を育み、 夢や希望を持って成長していけるルーティン 化された居場所づくりを目指す。	那覇市若狭公民館
	代表理事 上原 正弘		5/22～3/27
22	せんだい伝統文化 フェア実行委員会 【宮城県】	『第12回 城下町せんだい 日本伝統文化フェア』 仙台市内で伝統文化活動を行っている子供 親子教室18団体で構成するせんだい伝統 文化フェア実行委員会と仙台市教育委員会 の共催。伝統文化の成果披露と子供自ら活 動する機会作りとし、次世代の子供への伝 統文化の継承と振興に寄与する。	仙台市立荒町小学校 体育館
	会長 小野 智子		1/21
25	稲美町国際交流協会 【兵庫県】	『3国際交流協会合同 「子どもインターナショナルキャンプ」』 小学生の子供たちが、野外活動や英語ゲー ムを通し、外国人の先生方や地域内外の友 達や大学生等ボランティアと交流し、英語を 含めたコミュニケーション能力・自主性・生き る力を育むことを目的とする。	加古川少年自然の家 キャンプ場
	会長 丸尾 信夫		10/2
26	勅使河原ビル株式会社 【宮城県】	『こどもピアノフェスティバル ～ピアノはともだち～』 ピアノフォーラムin仙台番外編。生涯の友と なりうる音楽、ピアノを中心としたこどものた めのピアノフェスティバル。音楽を楽しむ糸 口を提供し、文化芸術に親しむきっかけづく りとする。音楽作品への多角的な理解を促し てゆく。	仙台中央音楽センター
	代表取締役 庄司 美知子		12/24・25
27	公益財団法人 池田記念 スポーツ文化財団 (池田記念美術館) 【新潟県】	『美術館を舞台にした 哲学対話プログラム』 美術作品を媒介に哲学対話を実践すること によって他者の意見を聞きお互いに質問 し、自由に発言する力、理解を深める力、自 己と他者との違いを認め合う力、課題解決 力、対話力など、未来を担う子どもたちを美 術館を舞台に育成する。	①「八色の森の美術展」編 ②「驚きの鉛筆画 木下晋の絵本原画展」編
	理事長 池田 哲雄		①9月～10月 ②11月～12月

以上18件

D. 文化及び芸術等の振興に対する助成

応募: 33件 決定: 20件

助成額 1件/300,000円以内

(敬称略)

分類 番号	団体名	事業名等	場所〔参加人数〕
			実施時期
1	ヒロシマ・ミュージック・プロジェクト 【広島県】	『第二回平和の舞く神楽の学校2022 inアステールプラザ}-現代によみがえる “儀式舞”比婆荒神神楽他 -レクチャー・ワークショップと神楽公演』 神楽は本来鎮魂と再生や農耕と奉納を原意とする。多文化社会と共生の理念のもとに平和への希求を世界に発信する。現代に蘇える神楽の儀式舞の歴史と体験と鑑賞を通し、神楽文化の継承と主に後継者育成を目的に活動する。	JMSアステールプラザ・中ホール
	代表 伴谷 晃二		11/13
2	バッハホール管弦楽団 (加美町市民オーケストラ) 【宮城県】	『バッハホール管弦楽団 2023ニューイヤーコンサート』 10～70代の町内外の演奏家が活動している。本事業を通じて音楽をもっと身近に感じてもらうとともに、宮城県北部の音楽活動の拠点として、演奏技術の向上や次世代の文化の担い手たる子どもたちの音楽文化普及と育成に寄与する。	加美町 中新田バッハホール
	音楽監督 金澤 茂		1/22
3	城下町せんだい 日本伝統文化 未来プロジェクト 【宮城県】	『トキメキ体験！日本伝統文化は ココ・城下町せんだいから』 仙台市の観光振興の一助とし、日本伝統文化の振興と次世代への継承を目的として、静かな佇まいに在る仙台屈指の歴史的建築物の茂ヶ崎庵・仙庵を場所として、ココでだけ!あなただけ!楽しく学ぶ多彩な日本伝統文化の体験講座を開催する。	茂ヶ崎庵・ 仙台市茶室仙庵
	理事長 東海林 恒英		4月～3月 (月1回)
4	混声合唱団グラン 【宮城県】	『混声合唱団グラン 3rdコンサート』 東日本大震災の被災者の思いを主題として、地元ジャーナリストと著名音楽家により創作出版された合唱組曲を、当団が長く歌い継いでいくべく選定。音楽を通じ、被災者への祈りと未来への希望、防災の重要性が共有される演奏会としたい。	電力ホール
	代表 男澤 亨		11/13
5	N-ovalビル音楽サロン 【宮城県】	『N-ovalビル音楽サロン Monthly concert-Monday afternoon-』 クラシック音楽の啓蒙・情操教育活動を通して、音楽の世界の楽しさや素晴らしさ、心のゆとりを感じてもらうため、N-ovalビルで様々な器楽奏者や声楽家による演奏会を開催し、楽都仙台の活動に貢献したい。	N-ovalビル一階 オープンスペース
	代表 野口 正一		4月～3月 (年11回実施)
7	一般社団法人 仙台オペラ協会 【宮城県】	『2022仙台オペラ協会 第46回公演「コジ・ファン・トゥッテ」』 モーツァルトのオペラ作品を上演。キャストやスタッフにできるだけ多く地元の人々を起用し、人気の高いこの作品を上演することにより、オペラの普及と地域の音楽文化の振興に寄与する。	日立システムズホール仙台 (青年文化センター)
	会長 藤崎 三郎助		9/18・19

分類 番号	団体名	事業名等	場所〔参加人数〕
			実施時期
9	一般財団法人 奥州市文化振興財団 【岩手県】	『奥州市文化会館開館30周年記念事業 奥州市民劇「新平さんの大風呂敷」 -後藤新平物語-』 日清戦争帰還兵のコレラ検疫事業、関東大震災からの復興など近代日本の礎を築いた郷土の先人後藤新平の偉業と人間性を、市民劇を通して再発見し顕彰することにより、東日本大震災やコロナ禍で苦しむ我々の活力となることを願う。	奥州市文化会館
	理事長 菅原 義子		2/11・12
10	タクトつるおか 共同企業体 【山形県】	『タクト 1day シネマ』 市民が映画を通して多様な文化・芸術と触れ、豊かな感性や創造力を育む機会を創出する。また、閉館した映画館の再生を支援するとともに、近隣商店街と連携し、地域の豊かな文化振興へ寄与することを目的とする。	①ホール上映 ②ワークショップ ③音楽・アートイベント、マルシェイベント 荘銀タクト鶴岡 (鶴岡市文化会館)
	代表 阿部 真一		11/5
12	佐取純子 モダンバレエスタジオ 【宮城県】	『佐取純子モダンバレエスタジオ 創作舞踊「治く光 ～東北のこころ2022～」』 東北ゆかりの文学にはその風土に根差した豊穡で深遠な心性が反映されている。第1部は「東北の文学と舞踊の可能性」のトークセッション、第2部は東北の文人たちの魂の声を聴き創作した舞踊と朗読とのコラボで魂の安寧を願い踊るステージを届ける。	宮城野区文化センター
	代表 佐取 純子		9/3
13	nawaKIKAKU 実行委員会 【宮城県】	『罇を弾く』 仙台フィル副首席コントラバス奏者である名和俊が、初めてプロデュースを務める室内楽プログラム。仙台の音楽家と共に、実力ある演奏家を召喚し共演することで仙台のクラシックファンの拡大に繋げ、室内楽の楽しさを聴衆と共有したい。	日立システムズホール仙台 (仙台市青年文化センター)
	代表 名和 俊		4/1
14	シネマ・デ・アエル プロジェクト 【岩手県】	『シネマ・デ・アエル上映会』 江戸時代から続く酒蔵を改装したシアターで多様な映画作品に出会える上映会を開催する。上映後に参加者から感想を聞くアフタートークを行う。一部の作品では、関連するゲストを招いたトークイベントも実施する。	シネマ・デ・アエル (宮古市)
	代表 有坂 民夫		4月～1月 (計7回)
15	仙台短篇映画祭 実行委員会 【宮城県】	『ショートピース！仙台短篇映画祭2022』 仙台で上映される機会の少ない国内外の短篇映画や自主制作作品を上映する映画祭。監督やゲストとの交流や地域の企業や団体と連携して、地域文化の振興を進める。震災後の仙台の映像文化や地域振興に寄与し、復興への活力を提供したい。	せんだいメディアテーク
	実行委員長 菅原 睦子		6/25・26
17	学校法人 東北芸術工科大学 【山形県】	『みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ2022』 5回目となる山形ビエンナーレは、前回に引き続き現役医師が芸術監督を務める他に比類のない「いのち」をテーマに掲げた芸術祭として、分断された現代の様々な状況の中で人と人を「つなぐ」ことを目的とする。	山形市中心市街地
	理事長 根岸 吉太郎		9/3～25

分類 番号	団体名	事業名等	場所〔参加人数〕
			実施時期
18	公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団 (宮城野区文化センター) 【宮城県】	『宮城野区文化センター 室内楽セレクション 「Music from PaToNa」』 全国的に珍しい地方都市における室内楽の本格的な演奏会シリーズを実施。演奏会だけではなく、オープンゼミナール、アンサンブルアカデミー等関連事業を展開することにより、音楽文化の普及及び次世代を担う人材の育成に努める。	宮城野区 文化センターパトナホール、宮城野区中央市民センター、他
	理事長 板橋 秀樹		4月～2月
20	公益社団法人 宮城県芸術協会 【宮城県】	『第59回宮城県芸術祭』 本芸術祭は、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県文化振興財団、仙台市市民文化事業団と宮城県芸術協会の共催で、宮城県の芸術文化の振興発展に寄与することを目的として開催する。	せんだいメディアテーク他
	理事長 吉田 利弘		9月～3月
21	仙台湾燻蒸株式会社 文化事業部 【宮城県】	『若手アーティスト支援プログラムVoyage 「鈴木史展」「工藤玲那展」』 地元にはゆかりある若手アーティストの意欲的な活動をサポートし、新たな才能や感性と出会う場を創出、文化及び芸術等の振興を図る。様々な分野の専門家や専門機関と連携しながら、市民の参加型学習機会の充実を図る。	塩竈市 杉村惇美術館
	代表取締役 高田 徹四郎		7/16～9/4
22	公益財団法人 仙台フィルハーモニー 管弦楽団 【宮城県】	『仙台フィルハーモニー管弦楽団 特別演奏会 マイタウンコンサートin岩沼』 長年にわたり地域の文化振興に取り組んできた岩沼にて、優れた指揮者とソリストとの共演による本格的なオーケストラ音楽を、仙台フィルのフルオーケストラによる質の高い演奏を市民に届け、地域の一層の文化振興への寄与を図る。	岩沼市民会館
	理事長 高橋 宏明		8/21
23	公益社団法人 東北障がい者 芸術支援機構 【宮城県】	『第8回Art to You ! 東北障がい者芸術全国公募展』 障がいのある人の芸術活動の普及と振興を図り、芸術活動を通じた生きがいづくりの促進と福祉の増進に寄与することを目的とし、毎年東北障がい者芸術全国公募展を開催。多様な個性を理解しあえる共生社会の実現に貢献する。	宮城県美術館他
	代表理事 須佐 尚康		9/8～11
26	遠足プロジェクト 実行委員会 【宮城県】	『草の根共生アートフェスティバル』 共生社会実現に向け、障害者と外国人主体の舞台・美術・食の文化イベントを実施する。文化を通じたつながりの形成、マイノリティのエンパワメント、長期的には地域住民のマイノリティに対する意識変容を目指す。	Diversity Art Interactive Studio (石巻市)
	代表 武谷 大介		7/3
29	仙台短編文学賞 実行委員会 【宮城県】	『仙台短編文学賞出版プロジェクト』 東日本大震災後の風化と忘却に抗う目的で立ち上がった文学賞。地元の出版社と新聞社が共同で実行委員会を構成し、全国から短編を公募し選考の上、毎年3月に発表している。震災のみならず仙台・宮城・東北に関連した作品が多く寄せられる。	12月出版
	代表 土方 正志		

以上20件